質　問　回　答　書

2021 年 8 月 31 日

「全世界 2021 年度案件別外部事後評価パッケージⅢ－1（ガーナ、シエラレオネ）（QCBS）」
（公示日：2021 年 8 月 11 日／調達管理番号：21a00151）について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	説明書 p.22 第 3 章 2. (2) 2) 業務従事者の構成案	「評価対象者の業務人月は全体の 2/3 以上となることを条件とします」とあります。評価対象者は①「業務主任者/プロジェクト評価 1」と理解しますが、①の業務のうち、「プロジェクト評価 1」の業務を 2 名で担当することに問題はありますでしょうか。	問題ありません。その場合は①の業務を担当する 2 名が評価対象となります。
2	説明書 p.25 見積作成にかかる留意事項	渡航回数について、「延べ 4 回（各国 2 回）」が想定されておりますが、上記のとおり「評価対象者の業務人月は全体の 2/3 以上となることを条件とします」ということから、「業務主任者/プロジェクト評価 1」がガーナの 2 案件を担当する想定という理解でよいでしょうか。	渡航回数は対象 2 カ国を 2 名従事とした場合の必要最低限の回数想定ですので、必ずしも想定通りとする必要はありません。
以上、第1回（8 月 26 日）回答済分			
3	p.16-17 第２章第４条（２）３）シエラレオネ：：カンビア県地域開発能力向上プロジェクト	エボラ出血熱の影響が拡大する前の2014年に終了時評価が実施されたと思いますが、公開資料で終了時評価調査報告書を見つけることができませんでした。同報告書は公開されていますか。	シエラレオネについては、エボラ出血熱の影響が拡大する前（2014 年）と、エボラ復興の追加コンポーネントが実施されたあと（2018 年）の 2 回終了時評価が行われており、報告書はいずれも JICA 図書館から入手可能です。

		未公開の場合、公平性の観点からも、同報告書の共有をお願いすることは可能でしょうか。	（2018 年終了時評価報告書） https://libopac.jica.go.jp/search/detail.do?rowIndex=1&method=detail&bibId=1000038667 （2014 年終了時評価報告書/発行は 2017 年） https://libopac.jica.go.jp/search/detail.do?rowIndex=0&method=detail&bibId=1000032352
4	16 頁「3)シエラレオネ:カンビア県地域開発能力向上プロジェクト」1 段落目	「終了時評価に記載されている内容を中心に評価すること」とは、どのような意味であるのか、少し具体的にお聞かせいただければ幸いです。「これは、終了時評価の PDM を基に評価する」ということを指し示しているのでしょうか？ 終了時評価の PDM を用いるということである場合、プロジェクト業務完了報告書頁 1-3 に記載されている最終版 PDM を用いない理由について、何かございましたら、ご説明いただけると幸いです。 プロジェクト業務完了報告の頁 1-3 のほか頁 7-2、別添をみますと、PDM は、終了時評価後にも 2 度修正されているようです。変更が妥当と判断すれば最終版の PDM を評価に使えるのではないかと考えました。	失礼いたしました。終了時評価時の PDM ではなく最終版の PDM を元に評価する、と修正させていただきます。 本件、エボラ出血熱の発生により事業内容が大きく変更されていることから、そういった変更要因も踏まえて評価いただきたいことが主旨でした。他方、同変更が妥当なものであったかは、外部評価レファレンスに基づき判断いただくことを想定しており、最終的な評価判断は評価者の判断を尊重いたします。

5	16 頁「3)シエラレオネ:カンビア県地域開発能力向上プロジェクト」6段落目	上記の質問との重複になるかと思います。 『「有効性・インパクト」については、プロジェクト目標の「カンビア県、ポートロコ県において、県・村落開発に係る県議会とワード委員会の体制と機能がより効率的・効果的に強化」されたかを確認する。』とありますが、プロジェクト業務完了報告書の最終版 PDM では、「北部州におけるカンビア、ポートロコ両県、及びその他３県(ボンバリ、コイナドゥグ、トンコリリ)において、より効果的活効率的な県・村落開発を管理するため、県議会やワード委員会の体制と機能が強化される。」と対象地域の拡大などがされています。 PDM の変更が妥当と判断できれば、最終版 PDM のプロジェクト目標を用いることは可能なのでしょうか？もし、不可能であり、終了時評価時のプロジェクト目標を用いなければならないとするならば、理由をご教示いただければ幸いです。	回答4をご参照ください。
6	16 頁「3)シエラレオネ:カンビア県地域開発能力向上プロジェクト」中段	「「効率性」については～事後評価時点での達成状況を確認する。」の'事後評価時点での達成状況'は'プロジェクト完了時（本件では、2019 年 2 月）の達成状況'が正しいでしょうか？	大変失礼しました。 「事後評価時点での」ではなく 「事業完了時点での」に修正させていただきます。

以　上